

取引先との契約と従業員の雇用を受け継ぎ、販路拡大と人材確保を実現できた同業者による中小M&A(第三者承継)

《譲渡側》 有限会社林衣料(代表取締役 林 義朗氏 76歳)・・・相談者
《譲受側》 株式会社タガワ(代表取締役 田川智浩氏 47歳)

相談の概要と支援の経緯

▶有限会社林衣料(京都市下京区)は、1954(昭和29)年創業のユニフォーム企画販売事業者で、官公庁や企業に多くの顧客を持っている。林社長は創業者の父から事業を31歳で引継いだ2代目で、子供たちは既に独立しており後継者不在。67歳のときに病気で大きな手術を経験しており自身の健康にも不安を抱えていることから第三者承継による事業譲渡を考えるようになった。
当センターが発送した事業所宛ての支援施策紹介のDMをご覧になったことが切っ掛けで2018(平成30)年10月にご相談を頂いた。
長年のお取引様にご迷惑をお掛けしたくないという責任感と、19歳の時から30年来勤めてくれている従業員の雇用を守ってあげたいというお気持ちをお聞かせ頂いた。

▶林社長の熱い思いを受けて当センターでは譲渡候補先をご提案したが具体的な交渉には至らず、その後のコロナ禍を経て支援再開、意中の取引先(同業他社)数社に絞って調整を進めたところ、株式会社タガワが従業員の継続雇用を前向きに検討いただき、取引先とのお付き合いについても誠実に対応頂けるという確信を得て、2023(令和5)年5月23日に株式譲渡契約締結に至った。



(有)林衣料の社屋
下京区松原通富小路東入

▶株式会社タガワは、大阪エリアの企業への制服、ユニフォームの卸・販売、及びECサイト販売でも強みを持っていた。2022(令和4)年に先代社長が急逝され、ご子息の智浩氏が社長就任して多忙な時期であったにも関わらず、林社長のお気持ちにも理解を示して頂き、京都エリアへの販路拡大という経営方針とも合致することから事業引継ぎを迅速に検討頂いた。



譲渡契約を済ませた田川社長(左から2人目)と林社長(右側奥)と関係者の皆さん
左側奥は、外部専門家の櫻田公認会計士

当センターの支援

- ▶売り買い双方の意思確認のためにトップ面談を実施
- ▶基本合意後の法的手続きや詳細な調整と確認のために当センター登録の外部専門家(公認会計士・税理士)に支援を要請し複数回の専門家派遣を実施。
 - ①基本合意書の作成 ②従業員の雇用条件、取引先との契約、経理事務の引継ぎなどの調整 ③現社屋の賃貸借契約を含む株式譲渡契約書の作成

ひとこと

「長年取引のお客様には迷惑は掛けられない。従業員の生活を守りたい」との思いを受け止めて頂ける素晴らしい出会いがありました。
譲受側の田川社長からは譲渡式の挨拶で、『林社長が会社を先代社長から引き継がれた昭和51年は私が生まれた年。わが社より老舗の企業を引継ぐ責任を重く感じています』と述べられました。
雇用主としての責任感や取引先への感謝の気持ちをバトンタッチしていくため、外部専門家の支援を活用して具体的かつ計画的に手続きが進められた好事例でした。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー 土屋 卓